

[群馬県医師会]

<医師バンクの取組状況>

- ・当会として、医師バンクは設置しておらず、群馬県が平成19年から「群馬県ドクターバンク」の設置・運用している。
- ・登録状況について（R7.8月現在）
　登録医療機関174施設（求人件数：199件）、登録医師34名
　登録医師は県外で働いており、将来的に群馬県で働きたいという方が先を見越して登録をしているケースが多い。
- ・成立実績について
　運用開始からのマッチング件数は25件であり、最後の成立は令和元年に1名で、令和2年度以降は0件が続いている。令和6年度の求人相談件数は24件。
- ・ドクターバンクのPR方法について
　県のホームページやe-docter（医師の就職・転職情報サイト）への掲載、チラシ作成等
- ・ドクターバンク運営上の課題と新たな取り組みについて
　医療機関と求職医師のマッチングに向けたフォローオン体制の強化が必要。
　→ 令和6年度に新たな取り組みとして、ドクターバンクの利用促進を図るため、医師と医療機関を仲介する「ドクターバンクコーディネーター」（専属）を県医務課に配置した。医師と医療機関の仲介支援のほか、事業のPR、医療機関からの情報収集を強化し、引き続き、事業の一層の充実に向けて取り組んでいく。

<女性医師支援の取組状況について>

【保育サポートーバンクについて】

- ・当会では、子育て医師の離職を防ぎ、就業継続・女性医師のキャリアアップ支援として、平成24年5月から「保育サポートーバンク」事業を運営している。
- ・財源は地域医療介護総合確保基金を活用している。令和7年度は予算が確保できたため保育サポートーの報酬単価を300円賃上げすることができた。（平時：1,400円／時間、時間外1,600円／時間）また、利用医師に対し利用料金の一部を助成している。（平時：600円／時間、時間外800円／時間）
- ・登録状況（累計）（R7.9.20現在）
　登録医師数…286名　登録サポーター数…289名
　利用医師数…130名　活動サポーター数…150名（R5.4.1～R7.9.20）
- ・利用実績　令和7年8月　利用医師数…55名　利用時間…788.5時間
　（令和6年度総利用時間は13,841時間）
- ・今後の課題・取り組み
　登録サポーターの増員
　→ 登録当時とライフスタイル等が変わった（サポーター自身の親の介護、孫の世話を必要になった等）ことに加え、高齢化によりサポートを控える方も増えており、利用希望医師とのコーディネートに苦慮している。引き続き、保育サポートー募集の周

知を地域情報紙やラジオ、県の広報誌等を活用していく。

<群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・教育センター(男女協働キャリア支援部門)での取り組みについて>

○医師ワーク支援プログラムを提供している。

- ・臨床現場を離れた医師が、通常業務に復帰するまでの再教育支援、また、継続的な高度医療の知識・技術の習得を可能とするよう、各自の意向に沿った支援を行っている。新規プログラム利用者や希望者に対しては、働き方や専門医取得に関するアンケートを行い、個別面談（年1回程度）を実施している。

○取り組み状況について

- ・令和6年度のプログラム利用者数は、過去最多であった。（年間利用医師数53名、修了者数19名）
- ・開設以来のべ150名を超える医師が本プログラムを活用し、修了者の半数以上が常勤医として復職している。復職先は群馬大学だけでなく、県内の他の医療機関へも復職している。
- ・利用者は育児のための一時的な利用だけでなく、介護や家庭的事情などを理由に利用する方もいる。そのため、自己のスキル習得が完了しただけではなく、家庭での悩み等を解消でき、自ら通常勤務に戻れることを判断し、修了者となる。
- ・利用者の働き方としては、フル勤務に向けて、まずは半分の時間で勤務する、他病院の医師が一時的に群馬大学で短期間勤務をする、などの事例がある。

○取り組みにあたっての課題・問題点

- ・医師によりキャリアに対する希望やご家族など支援体制も異なるため、所属診療科や指導医との連携し、個別に丁寧な対応が必要。
- ・医師夫婦も多く、復職後も女性側に育児や家事の負担が多い。

※ 詳細については参考資料をご参照ください